



進路・夢実現に向けて、この1問をクリアしよう!!

霧島市「今週の1問」

3 月 6 日版

学年

教科

1年

社会

名前

学びのポイント

各時代の特徴や流れをおおまかにとらえることができるようになろう。

令和元年度の鹿児島県公立高等学校入学者選抜学力検査問題の一部にチャレンジしよう！

I 次は、ある中学生が大宰府にゆかりのある人物についてまとめたA～Dのカードと、生徒と先生の会話である。

A 最澄

比叡山で修行し大宰府を経由して中国に渡り、仏教を学ぶ。帰国後、天台宗を広める。

B 鑑真

日本で仏教を広めるために、中国から来日。鹿児島に到着し、奈良にいたる途中で大宰府を訪れる。

C 菅原道真

朝廷内の要職につき、遣唐使の停止を提言。権力争いに敗れ、大宰府に追いやられる。

D 足利尊氏

建武の新政で後醍醐天皇と対立し、九州へ。大宰府で軍を立て直し、京都で新政権を樹立する。

生徒：古代日本の軍事・外交の要となった大宰府に興味をもったので、大宰府にゆかりのある人物について調べてみました。

先生：大宰府といえば、元号「令和」に関係があります。「令和」の出典は、奈良時代末に大伴家持らが天皇・貴族や農民などの和歌を広く集めてまとめたとされる『 』の中の、梅花の歌の序文です。この梅花の歌がよまれたところは、大宰府だったといわれています。ところで、足利尊氏も大宰府にゆかりがあることをよく調べましたね。

生徒：博物館で開催された室町時代の将軍に関する特別展を見に行き、そこで知りました。

先生：そうでしたか。大宰府は、古代の終わりとともに軍事・外交の要としての歴史的役割を終えることになりましたが、その後、江戸時代に福岡藩が行った調査などをきっかけとして、注目されるようになったのですよ。

- 会話文中の にあてはまる最も適切なことばを書け。
- ①が来日した8世紀の日本と中国の関わりについて述べた文として最も適切なものはどれか。
 ア 執権北条時宗のとき、文永の役・弘安の役と二度にわたり元軍の襲来をうけた。
 イ 唐の都長安にならった平城京が、律令国家の新しい都としてつくられた。
 ウ 明の求めに応じて倭寇の取り締まりが強化され、勘合貿易が始まった。
 エ 邪馬台国の女王卑弥呼は魏に使者を送り、魏の皇帝から倭王の称号を与えられた。
- ②に関して、遣唐使などがもたらした唐風の文化を基礎としながら、日本の風土や生活にあった国風文化が摂関政治のころに発達した。この文化に最も関係の深いものはどれか。

ア



イ



ウ



エ



1 _____

2 _____

3 _____

振り返り

※ 分かったこと、できるようになったこと、分からなかったこと、困っていること。